



もっとチリモン！ チリメンモンスターの学びを深めるための道しるべ

パスファインダー



チリメンモンスターの実習をするにあたって、事前・事後学習をするのに役立つ調べ方を紹介します。出現した種類の名前を調べるだけでなく、チリメンモンスターから広がる世界を楽しみましょう。



本でしらべる

図書は、古い本でもしっかりした内容の資料もあり、また生物学の発展に伴い新しい本（改訂版を含む）も出版されています。書店だけでなく、地域の図書館も活用して、たくさんの本を手にとってみましょう。

図鑑でしらべる



出現する「チリモン」の簡単な情報を得るのに適しているのは『図鑑』です。それがどの仲間で、成長したらどんな姿になるか、調べてみましょう。図鑑の使い方を学ぶ授業にも利用できます。

図鑑をみる時のポイント

● 2-3種類の図鑑をみてみましょう。

例えば、ちりめんじゃこの原料となる「カタクチイワシ」を、2-3種類の図鑑で調べてみてください。本によって、書いてある内容にちがいがあることが発見できるでしょう。図鑑は、対象年齢や使用目的（ダイバー用や釣魚用など）によって、内容を変えているので、いくつかを見比べてみると、調べる楽しさを増やすことにもつながります。

● 児童用の図鑑をあなどるなかれ

たとえ児童用の図鑑であっても、最近は専門家がきちんと監修・執筆しているものがほとんどです。迷ったら、児童用のポケット図鑑を2種類ほど用意するだけでも十分対応できます。

● 図鑑シリーズの一例（対象年齢は、目安）

★ 未就学児～小学校低学年

「フレーベル館の図鑑 ナチュラ（NATURA）」

★ 小学生以上

「小学館の図鑑 NEO」「講談社の動く図鑑 MOVE」「ポプラディア大図鑑 WONDA」「学研の図鑑 LIVE（ライブ）」「ジュニア学研の図鑑」「ニューワイド学研の図鑑」

● 最新の図鑑を使いましょう

生物学は日々、発展しています。生物の分類などが変わることもよくあるので、なるべく新しい図鑑を使うようにしましょう。

● 「生きもの」を調べるときに参考となる書名（タイトル）のキーワード

※海岸生物を中心に扱っている図鑑には、チリモンとして出てくる動物は、あまり載っていないので注意しましょう。

- ◆ 魚 → 「魚」「海水魚」「淡水魚」「釣魚」
- ◆ 魚以外 エビ、カニ、イカ、タコ、貝など → 「水の生き物」「水の生物」
- ◆ 海藻・海草 → 「植物」「海辺の生き物」

- ★ 図鑑に出てくる生きものの正式な名前（標準和名）が分からない！
- ★ 思っていた名前が見つからない！
- ★ 何のなにか分からない！

こんなときは？

- ・辞書や百科事典をひいてみる。
- ・低学年向けの図鑑の索引を調べてみる。
- ・名前の前に「マ」をつけてみる。例 サバ→マサバ

「百科事典」や「辞書」も併せて調べてみましょう！図鑑とは違った角度から、アプローチできますよ。



地域の図書館でしらべる

いろいろな本や雑誌をじっくり見たいときは、図書館へ行くのがおすすめです。また、地域の図書館には、地域（郷土）資料コーナーが必ず設置されており、一般に流通している本だけでなく、郷土の生物や料理の情報が掲載された資料（本・雑誌・新聞）も置いてあることがあるので、探してみてください。地域学習の単元にも、きっと役立つことでしょう。自治体によっては、公共図書館から学校や団体機関への貸出も行っていますので、実習前後に利用できないか、問い合わせてみましょう。また、有料のデータベースを利用できる図書館も増えていますので、活用してみましょう。



インターネットでしらべる

情報収集を、インターネットに頼ることが多くなっていますが、web上の情報は玉石混淆。発信元が信頼できるか十分確かめて、情報を収集・精査してください。よく使われるウィキペディアは、記事によっては信頼性が低い内容もあるので、きちんと参考文献がついているものだけを参照しましょう。いくつか、おすすめのサイトをあげておきます。（2019年3月10日確認）。

● チリモン web 図鑑 提供：ネイチャー大阪（公益社団法人大阪自然環境保全協会）

<http://chirimon.jp/>

チリモンの同定に困ったら、まずここで調べてみて、それでもわからないときは写真を投稿して聞いてみよう。また、自信のある写真はどんどん投稿して、図鑑を充実させましょう。詳細は、本編 61 ページを参照。

● 静岡県水産技術研究所 ▶ 水技研らいぶらりい ▶ 生物の名前を調べる：しらす干しに混入する生物

<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/04library/4-1-7.html>

基本であるカタクチイワシ、マイワシ、ウルメイワシの稚魚の見分け方が、わかりやすく紹介されています。その他、しらす干しに混ざる生物 25 種類の写真と解説もあります。

● 徳島県立農林水産総合技術支援センター ▶ 水産研究課 ▶ もの知り図鑑

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/suisan/monoshirizukan>

徳島県ブランドの水産物 10 種が紹介されていますが、そのうち「ものしり図鑑ちりめん」（PDF:3 MB）では、ちりめんじゃこのことが、くわしく解説されています。

● 徳島県すだちくん OFFICIAL SITE ▶ すだちくんのとくしまブランド紹介 ▶ ちりめん

<https://sudachikun.jp/>

和田島漁港で行われているバッチ網漁法から、ちりめんじゃこの加工まで、動画（4分47秒）で紹介されています。

● 論文をしらべる

生物の最新の知見は、論文として発表されることがほとんどです。一般的な本に書かれたもの以外にも膨大な情報が掲載されているので、正確な情報を得るためには、論文検索が欠かせません。

・ Google Scholar in English <https://scholar.google.com/>
文献検索に特化した Google の検索サイト。日本語の論文も検索できます。



専門機関に聞く

地元の博物館や水族館に問い合わせたり、実際に訪問したりしてみましょう。専門の人がいたらいろいろ情報を教えてもらえるでしょうし、運がよければ、さらに詳しい人を紹介して下さることも？チリモンのワークショップを定期的におこなっている施設・機関は、本編 64-67 ページに掲載しています。